



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 熊本地震からの生活再建に向けた支援を行っています
- 4 新採用職員研修を実施しました！
- 6 台湾から平成28年春季定期チャーター初便が到着！
- 7 一般国道 107 号杉名畑地区の復旧状況について
- 8 いわて国体・いわて大会を盛り上げる「国体おもてなしロード環境整備事業」を進めていきます！
- 9 住宅再建相談会を開催しています！
- 11 みんなで防ごう土砂災害！
- 13 県土整備部の職場紹介～県土整備企画室～

2016年

5月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 142 号
平成 28 年 5 月 31 日発行
編集 県土整備企画室



希望郷
希望郷

いわて国体 いわて大会

いわて国体は 10/1 から（水泳競技 9/4～）、いわて大会は 10/22 から開催されます

FDA9号機 「黄金の國、いわて。」号 命名！

5月21日（土）、初夏の陽ざしをたっぷり受けて、ゴールド色のFDA9号機が、いわて花巻空港に到着しました。

本県ではFDAの花巻・名古屋線就航5周年及び平泉の世界遺産登録5周年の時機を捉えて、ゴールド色の9号機のネーミングライツ（命名権）を取得、同機を「黄金の國、いわて。」号と命名しました。

「黄金の國、いわて。」号は機体と座席のヘッドレストカバーに「黄金の國、いわて。」のロゴと“そばっち”が描かれ、平成28年12月31日まで、FDAが就航する全国14都市を結ぶ15路線で岩手をPRします。



FDA（フジドリームエアラインズ）須川代表取締役社長（左から6人目）と達増知事（左から7人目）ほかによる9号機命名お披露目

いわて花巻～名古屋線は今年5月で就航5周年！1日4便、花巻～名古屋（小牧）間を約1時間15分で結びます。

なお、達増知事が着用しているのは、「黄金の國、いわて。」をモチーフとした「いわてまるごと売込み隊」ユニフォームです。

熊本地震からの生活再建に向けた支援を行っています

熊本地震につきましては、犠牲となった方の御冥福をお祈りするとともに、未だ不安な生活をされている住民の方々、日夜、復旧に向け対応されているの方々へお見舞いを申し上げます。

岩手県では熊本地震に対する応援本部を設置し、発災直後のDMAT派遣や救援物資支援のほか、東日本大震災津波への対応を経験した職員の派遣等による支援を行っています。

県土整備部からは、被災した住宅の損傷程度を調査し二次災害を防止するため、被災建築物応急危険度判定士の資格を持つ職員12名が、4月23日から4月28日の間熊本市内を中心に活動しました。

また、応急仮設住宅を早急に整備し、避難者の仮の住まいを確保するため、東日本大震災津波で同業務に携わった職員が4月25日から2週間、現地で活動を行いました。

被災建築物の応急危険度判定支援

●活動内容

熊本地震発生後、熊本県から国を通じ北海道東北ブロックの各道県に支援要請があり、12名の職員が現地で活動を行いました。

活動内容は、被災建築物の損傷度合いを目視で調査し、余震等により建築物が倒壊するおそれがないか判定するものです。

判定結果は、建築物に「危険(赤)」、「要注意(黄)」、「調査済(緑)」の紙を貼って住民に対して注意を呼びかけ、2次被害を防止します。

●現地の状況

建物本体の損傷については、外壁や瓦等の落下の恐れが見られ、ブロック塀については、倒壊の恐れにより危険度が増している箇所も見受けられました。

また、瓦屋根の古い住宅の被害や高層マンション等のRC建築物についても、開口部周辺の壁(構造体でない)にひび割れの被害も多く見受けられました。

●派遣体制

		第1陣	第2陣	合計
派遣日程		4月23日～25日	4月26日～28日	6日間
派遣場所		熊本市内中心部	同左及び益城町	2市町
派遣人数		建築住宅課3名	建築住宅課3名	12名
		盛岡広域振興局土木部 3名	盛岡広域振興局土木部 3名	
判定件数	緑	139棟	48棟	187棟
	黄	52棟	37棟	89棟
	赤	15棟	18棟	33棟
	計	206棟	103棟	309棟



写真1



写真2



写真3

写真1:【判定前】熊本市役所にて、応急危険度判定を実施する区域や現地までの移手段などについて事務局と打合せ

写真2:【判定中】現地において、建築物の傾き状況を調査しています

写真3:【判定後】住民に注意を呼びかけるため、判定結果の紙を見やすい場所に貼っています

応急仮設住宅の整備支援

●活動内容

地震により住まいを失った方等へ仮の住まいを提供するため、東日本大震災津波で仮設住宅整備業務に当たった職員2名が派遣され、業務支援を行いました。

現地では、東日本大震災津波での経験を活かし、仮設住宅整備の初動体制づくり、事務手続き等のアドバイスから、仮設住宅用地の適不適の調査、配置計画の図面審査、着工時の縄張検査等を行いました。

●派遣体制

- ・派遣人数
岩泉土木センター 1名
宮古土木センター 1名
- ・派遣期間
4月25日(月)～5月8日(日)2週間
- ・活動地域
熊本県庁建築住宅局住宅課分室を拠点に、被災各市町村

●現地の状況

用地として予め想定していた場所が地割れを起こして活用できなくなる等、被災地ではさまざまな混乱が生じていましたが、同時に派遣されていた宮城県・福島県の仮設住宅経験者等と意見を出し合い、何とか4月29日には着工まで漕ぎつけることができました。

引き続き現地には他県・市の多くの職員が派遣されており、仮設住宅の整備完了に向けて全力で取り組んでいます。



写真1



写真2



写真3

写真1: 派遣職員を中心に建設業者(プレハブ建築協会)と仮設住宅の仕様等について打合せ

写真2: 派遣職員等による用地調査

写真3: 着工時の縄張検査

新採用職員研修を実施しました！

建設技術振興課

平成 28 年 5 月 11 日から 2 期 7 日間の日程で、「平成 28 年度県土整備部新任職員研修及び土木技術者専門研修（新採用職員）」を実施しました。

土木職員としての基本技術を習得した約 60 人の職員が、将来の岩手県を担っていくことが期待されます。

新任職員研修



新任職員研修は、県土整備部に配属された新採用職員等を対象に、**県土整備部の業務等の全体像と流れを理解**することにより、新採用職員等の今後の円滑な業務の遂行に資することを目的として実施したものです。

参加した約 60 人の新採用職員等は、県土整備部行政の概要等を学びました。

土木技術専門研修

土木技術専門研修は、総合土木職、建築職及び総合土木任期付職員として岩手県に採用された職員等を対象に、業務の遂行に必要な基本的な知識と技術の習得を目的として実施したものです。

約 50 人の土木職員が、**工事に係る事務手続きの流れから、共通仕様書、監督業務全般、土木工事積算演習、土木設計積算システム操作、CAD システム基本操作等、多岐に渡る研修**をとおり、技術職員の基本となる技術を習得しました。



土木技術専門研修の研修計画

採用 4 年目：一般構造物

採用 3 年目：道路・河川砂防計画

採用 2 年目：土木材料

新採用：積算演習等

県土整備部では、**新採用職員から採用 4 年目職員までを対象とした研修を計画的に実施し、職員のスキルアップを図っています**。また、用地職員を対象とした積算システム・CAD システム研修や、積算審査業務向上研修、工事安全管理研修等、様々な研修を実施し、職員の技術力向上を図っています。

平成 28 年度土木技術専門研修等の開催予定

研修名称	開催時期（予定）	日数
積算システム基本操作研修	4月中旬～下旬	2日間×3期
土木技術専門研修 （CAD 研修初級～中級～応用編）	4月下旬、 7月上旬	2日間×3期
土木技術専門研修 （新採用職員）	5月中旬	3.5日間×2期
土木技術専門研修 （用地職員積算システム・CAD 研修）	5月下旬	2日間
建設 ICT 講習会 （釜石開催）	7月上旬	1日間
積算審査業務向上研修	7月上旬	0.5日間
土木技術専門研修 （工事安全管理）	7月中旬	0.5日間
土木技術専門研修≪2年目≫ （土木材料）	7月下旬	3.5日間×2期
土木技術専門研修≪3年目≫ （道路・河川砂防計画）	9月中旬	3.5日間×2期
土木技術専門研修≪4年目≫ （一般構造物）	10月下旬	3.5日間×2期
指導力向上研修 （OJT 指導者研修）	11月中旬	1日間
土木技術研究等発表会 ※	1月中旬	※H27 は県土づくりシンポジウムと共催

台湾から平成28年春季定期チャーター初便が到着！

空港課

台湾からの国際定期チャーター便が到着し歓迎セレモニーを行いました

5月26日(木)10時20分、台湾から58名のお客様を乗せた定期チャーター便がいわて花巻空港に到着しました。

歓迎セレモニーでは、花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会 安藤昭会長が来県を感謝し、「ますます台湾と岩手の親睦が深まることを期待している」と挨拶しました。

また、運航便の機長、許展堂(シュジャン タン)様からは、「今回、台湾ー花巻までの飛行任務を担当させていただき誠に光栄に思います。今回の台湾から花巻のチャーター便を契機に台湾から岩手花巻への観光客が更に増えることを祈っております」とご挨拶いただきました。



花巻ー台湾 チャーター便について

平成12年に台湾インバウンドチャーター便が運航開始、年合計35便運航。

平成25年まで14年間、チャーター便の運航実績を積み重ねる。

平成26年春に日本人、台湾人混乗型の定期チャーター便が初めて運航。

平成26年春、秋、27年春、28年春と3年連続して運航。

平成28年の春季定期チャーター便は5月26日から6月30日まで好評運航中！

交流を拡大させて定期便の就航を目指します！！



たいわんこきょうだい
りゅうっち

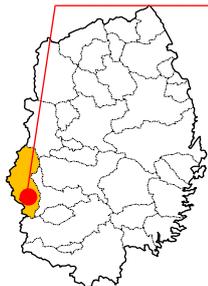
一般国道107号杉名畑地区の復旧状況について

砂防災害課

■被災概要

平成27年3月29日(日)、西和賀町杉名畑地区の一般国道107号上部山腹斜面から雪混じり土砂が崩落し、斜面下部に設置されていた百間平スノーシェッド(L=34m)が被災しました。

和賀郡西和賀町杉名畑地内



シェッド内部の被災状況



崩壊土砂堆積状況



崩落発生箇所
(道路面から約350m上部)

L=34m

至 秋田県

至 北上市

錦秋湖

被災全景

■復旧状況

雪解けが確認された4月から現場作業を再開しており、5月には越冬のために設置した仮設プロテクターを撤去しました。

6月は1ヶ月間の全面通行止を実施し、新設ロックシェッド下部の土留工を実施していきます。

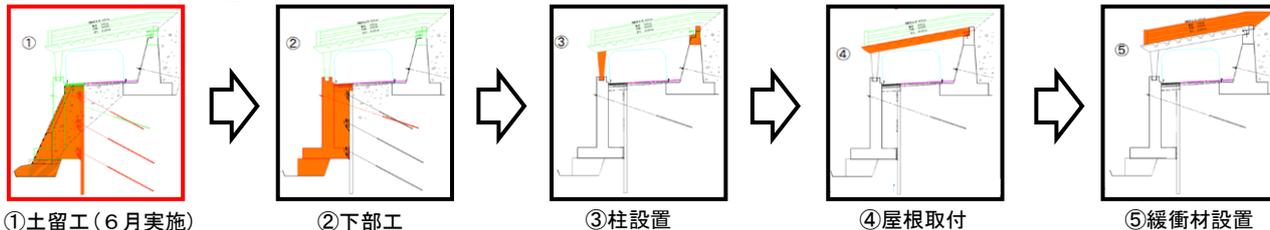


H28.2月に発生した雪崩



仮設プロテクター撤去状況

■ロックシェッドの施工フロー



■通行規制状況

6月の全面通行止は、以下のとおり実施します。

一日も早い復旧工事完了に努めますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

期間：平成28年6月1日(水)9時～6月30日(木)17時

周辺道路：秋田自動車道、県道花巻大曲線(4tを越える車両は通行困難箇所あり)

■秋田自動車道の無料措置について

対象区間：北上西IC⇄湯田ICの1区間のみの利用

無料となる利用方法

開始時：9時以降に料金所から出た場合 終了時：17時までに料金所を通過し入った場合

※ETCの利用でも無料です。なお、料金通過時に利用料が表示されますが請求はありません。

※125cc及び最高速度50km/h以下の車両(バイク含む)と自転車、歩行者は通行できません。



いわて国体・いわて大会開催を盛り上げる『国体おもてなしロード環境整備事業』を進めていきます！！



県南広域振興局土木部

県南広域振興局、盛岡広域振興局管内の各土木部及び土木センター並びに二戸土木センターでは、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会（以下、「国体」という。）での国体競技会場への主要アクセス道路等において、国体マスコット「わんこきょうだい」を活用した機運醸成事業を実施しています。

この事業では様々な取組を、「みんなで（地域住民、建設業、行政）」「一齐に（実施日や実施週間を設定）」実施することにより、国体の開催に向けた、機運醸成に繋げようとするものです。

◇主な取組

① 視線誘導標への大会マスコット使用

国体競技会場への主要アクセス道路等の視線誘導標に国体マスコットのシールを貼付け、国体開催への機運醸成を図ります。



貼付イメージ

② 工事現場でのマスコット使用

工事現場において、国体マスコット付きの工事看板を使用し、国体開催への機運醸成、建設業のイメージアップを図ります。



工事用看板使用例

③ 住民協働草刈区間へのサインボード設置

県管理道路で実施している住民協働草刈業務委託の起終点に国体マスコットを使用したサインボードを設置し、国体開催、住民協働草刈をPRします。

④ 住民協働草刈でのマスコットのぼりの使用

住民協働草刈業務委託の実施団体へ国体マスコットのぼりを貸し出し、道路に掲げていただくことで、国体開催への機運醸成を図ります。

◇プロジェクトチーム会議の開催

当事業を円滑に進めるため、県南、盛岡の両広域土木部、土木部土木センターのメンバーで構成されるプロジェクトチームを平成28年5月26日に発足し、第1回会議を開催しました。

今後、当チームメンバーを中心に事業をすすめ、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を盛り上げていきます。



H28.5.26
第1回プロジェクトチーム会議

次号からは、具体的に実施したイベント、取組みについて紹介していきます！



住宅再建相談会を開催しています！

～ 住宅の自力再建を支援します！ ～

建築住宅課

東日本大震災津波で被災された方々のうち、自力で住宅再建を目指す方々を対象に各種支援制度等の情報提供及び相談を行うため、県では平成24年度から住宅再建相談会を開催しています。

相談会の内容

相談会は、行政及び（独）住宅金融支援機構から公的支援制度、住宅融資等について全体会で説明をした後に、説明者の他、岩手県地域型復興住宅推進協議会及び（一財）岩手県建築住宅センターが依頼した建築士等が住宅の再建に関する個別の相談に対応しています。

【相談対応機関】

岩手県、開催市町村、（独）住宅金融支援機構、岩手県地域型復興住宅推進協議会、（一財）岩手県建築住宅センター 他



〈説明会の様子〉



〈相談会の様子〉

住宅再建をお考えの方で、

「何処に相談したらいいか良く分からないんだけど・・・？」
「いろいろ支援があるみたいだけれど、誰か説明して欲しい！」
という方、住宅の専門家に個別に相談できる機会です。

事前の申し込みは不要で、参加料、相談費用も無料ですので、皆様お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

（平日に住宅ローンの相談を希望される場合には、事前の予約が必要です。）

予約先：住宅金融支援機構お客様コールセンター（災害専用ダイヤル）

0120-086-353（9：00～17：00）

平成28年度の開催計画

平成28年6月から9月までの開催予定は以下のとおりです。

平成28年度住宅再建相談会開催日程(上半期)

	開催日		時間	会場
宮古市	6月5日	日	10:00~12:30	グリーンピア三陸みやこ
			13:30~16:00	グリーンピア三陸みやこ
	7月23日	土	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
	8月27日	土	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
13:30~16:00			河南仮設住宅集会所	
9月3日	土	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール	
大船渡市	6月19日	日	10:00~12:30	大船渡地区合同庁舎 4階大会議室、第2会議室
			14:00~16:00	未定
	8月21日	日	10:00~12:30	大船渡地区合同庁舎 4階大会議室、第2会議室
			13:30~16:00	
陸前高田市	7月10日	日	10:00~12:30	陸前高田市コミュニティホール大会議室
			13:30~16:00	陸前高田市コミュニティホール大会議室
	9月4日	日	10:00~12:30	陸前高田市コミュニティホール大会議室
			13:30~16:00	
釜石市	6月26日	日	10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室
			13:30~16:00	
	7月24日	日	10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室
			13:30~16:00	
	8月28日	日	10:00~12:30	釜石市青葉ビル 1階研修室
			13:30~16:00	
	9月25日	日	10:00~12:30	釜石市青葉ビル 1階研修室
			13:30~16:00	
大槌町	6月12日	日	10:00~12:30	大槌町仮庁舎 3階大会議室、中会議室
			14:00~16:00	大槌第5仮設団地集会所
	8月7日	日	10:00~12:30	大槌町仮庁舎 3階大会議室、中会議室
			14:00~16:00	
山田町	8月6日	土	10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター 2階会議室
			14:00~16:00	山田町ふるさとセンター
	9月10日	土	10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター 2階会議室
			14:00~16:00	船越防災センター

(変更がある場合があります)

みんなで防ごう土砂災害！

～6月は土砂災害防止月間です～

砂防災害課



近年、台風、梅雨前線豪雨、地震などにより全国各地で土砂災害が多発しています。

また、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

平成 26 年 8 月には、広島県広島市で住宅地を襲った大規模な土砂災害により、死者 76 名、負傷者 44 名と多くの人的被害が発生したことは記憶に新しいところです。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、**昭和 58 年から 6 月を『土砂災害防止月間』と定めています**。今年度は、土砂災害に関する防災意識の普及や、警戒避難体制の整備等を推進するために住民や砂防ボランティア等の市民団体と連携するなど、**一人ひとりが防災意識を持ち土砂災害を防ぐ**ため、全国各地で様々な取組が実施される予定です。

本県でも、市町村・砂防ボランティア等県協会・NPO 法人防災ネットいわてなどの関係機関と連携して、土砂災害危険箇所の点検や土砂災害写真パネル展の開催等を行うこととしています。

危険箇所点検の様子



また、平成28年6月6日から17日まで岩手県庁1階県民室において『土砂災害写真パネル展』を開催いたします。

県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取組等を紹介するパネルや、昨年度の土砂災害防止月間に小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」の優秀作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

過去のパネル展の様子



土砂災害にはこんな前兆現象があります!

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。



地すべり



土石流



がけ崩れ



土砂災害対策等に関するお問い合わせ

場所: 県庁7階 砂防災害課

TEL: 019-629-5922・5923 (土砂災害対策担当) FAX: 019-629-9140

E-mail: AG0006@pref.iwate.jp

県土整備企画室

県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。
各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介します。

組織の概要

東日本大震災津波からの早期復旧・復興をはじめ、ふるさとの振興、安全・安心な生活づくりなど、社会の変化に合わせて県土整備部全体が同じ方向を向いて取り組めるよう、総合的な企画・調整を行うとともに、県民や事業者の皆様から期待される役割に応え、効果的・効率的な事務・事業を執行できるよう万全なサポートを行います。

企画担当

いわて県民計画、復興計画等を着実に推進するため、部内各課や庁内各部署、広域振興局と連携し、事業の進捗管理やフォローアップ、予算編成などを行っています。また、事業実施に必要な予算を確保するため、国への要望などを行っています。

また、県民や事業者さまに県政へのご理解とご協力をいただくため、現場の声をお聞きし事務事業に反映させるとともに、「美しい県土づくりニュース」などを通じた情報提供を行っています。

美しい県土づくりニュースは、平成16年から職員手作りで発行しています。



管理担当

県土整備部の総務部門を担当しており、庶務をはじめ経理や人事が主な業務となっています。

庶務では、庁内他部署等との調整や部内の各種会議等の運営をしており、経理では、部内の予算経理を行っています。人事では、東日本大震災津波からの復旧復興に向けて人材確保に努めており、全国の地方自治体と職員派遣に係る調整を行なうなど、部全体の組織パフォーマンスの向上に取り組んでいます。

用地担当

県土整備部所管の道路、河川、砂防等事業に必要な公共用地の取得が適正かつ円滑に行われるよう、県の用地職員等に対する指導、連絡調整等を行っています。

また、新たに県道等の整備や河川改修等により不要となった土地（廃道敷、廃川敷等）の売払いなどの処分を行っています。



用地事務新任職員研修の様子



職場の様子。

各課との打合せなども行いながら、多岐にわたる部内の業務をまとめます。